

【199】

◇戦時下の文化

○思想… 国家主義的気運の高まり（文化統制・社会主義の弾圧・転向者の続出）

・ 雑誌「日本浪漫派」… 亀井勝一郎・保田与重郎らが反近代と民族主義を掲げる

・ 全体主義的思想 ← 国体論・ナチズムの影響

→ 東亜新秩序論・大東亜共栄圏論・統制経済論などの主張

○文学

・ 大正期からの文学界の作品

・ (新感覚派) (新感覚派)「 」

・ (耽美派)「 」

・ 「 」

・ …プロレタリア文学からの転向

・ 中野重治「村の家」 ・ 島木健作「生活の探求」

・ 戦争文学

・ 「 」 ・ 「 」(発禁)

※日本文学報国会の結成

○教育

・ 皇国史観に基づく歴史教育

・ 小学校は「 」となる

◇占領期の文化

○思想

・ アメリカ的価値観の流入

・ 言論界の活発化（天皇制に対する自由な議論・マルクス主義の復活）

○学問・科学

・ 考古学

・ の発掘

・ 社会科学

・ 丸山真男（政治学）大塚久雄（経済史学）川島武宜（法社会学）

・ 自然科学

・ （物理学）…日本初のノーベル賞を受賞

※ の設立（あらゆる分野の科学者を代表する機関）

○

・ 法隆寺金堂壁画の焼損がきっかけ

○文学

・ 「 」 「 」 ・ 「 」

・ 「 」

○芸能

・ （歌謡曲） ・ （映画）